

2025 年 12 月 4 日

電池研究所の第 2 開発棟が竣工

次世代電池材料の研究開発と事業化を加速

住友金属鉱山株式会社（本社：東京都港区）は、車載用二次電池材料（正極材）の研究開発を行う電池研究所（愛媛県新居浜市）において、第 2 開発棟が竣工したことをお知らせします。

このたび完成した第 2 開発棟には、次世代電池材料、特に全固体電池向けの正極材とその生産プロセス開発を加速するため、中規模の実証試験を行うことが可能なパイロット設備（※）を導入します。

第 2 開発棟にパイロット設備を導入することにより、電池材料を生産する自社の磯浦工場（愛媛県新居浜市）と同様に、晶析から焼成まで正極材の一貫した開発体制が電池研究所内に整備され、新たに開発する電池材料についても、量産体制と同様の工程を経た材料の特性評価や、顧客へのサンプル提供、量産設備の課題検証などを行うことが可能となります。

このたびの第 2 開発棟の竣工により、市場ニーズに対応した新規電池材料の事業化加速と、量産体制のより円滑な立ち上げに寄与する研究開発体制を構築してまいります。

また、住友金属鉱山は、今後もカーボンニュートラル社会の実現に貢献する次世代電池材料の開発を推進するとともに、電池材料の新規生産プロセスの開発など、最先端技術の検証や社会実装に向けた多様な研究開発に取り組み、企業価値の向上に努めてまいります。



電池研究所 第 2 開発棟

※導入されるパイロット設備は、国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構（NEDO）グリーンイノベーション基金事業「次世代蓄電池・次世代モーターの開発」の補助対象です。

<本件に関する報道関連のお問い合わせ>

住友金属鉱山株式会社 広報 IR 部 TEL: 03-3436-7705